

製品名: BMAL1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21134**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:69kD;Observed MW:78kD

抗原情報

遺伝子名	ARNTL
別名	ARNTL;BHLHE5;BMAL1;MOP3;PASD3;Aryl hydrocarbon receptor nuclear translocator-like protein 1;Basic-helix-loop-helix-PAS protein MOP3;Brain and muscle ARNT-like 1Class E basic helix-loop-helix protein 5;bHLHe5;Member of PAS protein 3;PAS domain-containing protein 3;bHLH-PAS protein JAP3
遺伝子 ID	406.0
SwissProt ID	O00327
免疫原	-

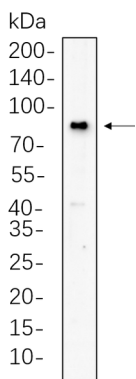
背景

細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CLOCKとヘテロ二量体を形成する基本的なヘリックス・ループ・ヘリックスタンパク質である。このヘテロ二量体は、Period 遺伝子 (PER1、PER2、PER3) および Cryptochrome 遺伝子 (CRY1、CRY2) の上流にあるEボックスエンハンサーエレメントに結合し、これらの遺伝子の転写を活性化する。PERおよびCRYタンパク質はヘテロ二量体を形成し、CLOCK/ARNTL複合体とのフィードバックループ相互作用によって自身の転写を抑制する。この遺伝子の欠陥は、不妊症、糖新生および脂肪生成の障害、睡眠パターンの変化と関連付けられている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。[RefSeq提供、2014年7月]

研究分野

-

画像データ



ラット脳細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をBMAL1ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。